

2024年度・令和6年度

# 事業報告書

2024年・令和6年4月1日 ~ 2025年・令和7年3月31日



2025年4月1日

学校法人山口学園

くずは青葉幼稚園

## 目次

2024年度・令和6年度 学校法人山口学園くずは青葉幼稚園 事業報告 本書は 13ページを以て成す

第1節 法人・幼稚園概要	1 page
第2節 2024年度・令和6年度 幼稚園運営総合指針	1 page
第3節 学校評価・自己評価の取り組み	2 page
第4節 子育て支援事業 ① 預かり保育 ② 園庭開放（未就園児子育て支援） ③ 課外教室	2 page
第5節 教育環境設備の充実 改修等について	3 page
第6節 納付金の減免	3 page
第7節 財務状況報告 [重要事項報告]	3 page
第8節 保護者交付各補助金	3 page
第9節 組織運営体制 ① 学校法人山口学園運営体制[理事長・理事会の役割と責任]	4 Page
② 理事長の法人、団体等の履歴事項 ③ くずは青葉幼稚園運営体制	4 page
第10節 園児健康管理及び職員健康管理	4 page
第11節 教員の資質向上	5 page
第12節 幼稚園行事（事業）の大要実施報告	5 page
第13節 学事報告 令和6年度 学籍詳細 就学小学校一覧	6 page
第14節 その他の報告	7 page
① 未就園児教室の開講 ② 小学校との連携・交流	7 page
③ ホームページの更新と情報公開	7 page
④ 次年度学籍について ⑤ 高齢者との交流会 ⑥ 銀行借入金に関して ⑦ 給食実施状況	8 page
第15節 沿革	9 page
学籍の推移 [資料]	11 page

## 2024年度／令和6年度 事業報告書

学校法人山口学園 くずは青葉幼稚園

設置者	学校法人 山口学園
学校名	くずは青葉幼稚園
所在地	枚方市北楠葉町38番1号
学校長氏名	園長 山口哲也
法人代表者	理事長 山口尚志
理事会	理事7名、評議員15名、監事2名 定例理事会 2回開催（6月・決算、10月・園地購入、3月・予算承認）
定員・実員学籍	定員400名 実員147名（令和6年4月1日時点） [3歳39名、4歳53名、5歳児55名]
職員構成	令和6年度 理事長1名、園長1名、主任教諭1名、教諭12名 保育補助2名、園務員1名、 嘱託バス運転手2名 以上正職員、 合計20名 [他、体育講師1名]
建学の精神	「たくましく人間性豊かな子どもをめざす」
その他 (1)	ホームページ [ <a href="http://www.k-aoba.ed.jp/">http://www.k-aoba.ed.jp/</a> ] 詳細の情報公開
その他 (2)	法人及び幼稚園連絡先 電話 072-857-8221 FAX 072-856-5944 メールアドレス info@k-aoba.ed.jp



### 第1節. 法人・幼稚園概要



### 第2節. 2024年度・令和6年度 幼稚園運営総合指針

開園以来48年目の幼児との営みと関わり、さらに教育実績を基盤にして内容の推進と充実を図り「建学の精神」を太く する努力研鑽に励んだ。年度初めに「経営理念」「学園の使命」「教育理念」の三つの柱を再認識の上、運営指針を定めた。これは、不変の指針とも言うべき事項であり、2024年度・令和6年度においてもこの指針に基づき幼稚園運営を行なった。また、本園全体で実践している「異年齢児による教育活動」「健康教育の推進活動」の充実を図るため、詳細の年度指針を設定した。更に学年ごとに詳細の教育目標を設定これを全教員共通理解を図り、幼稚園全体の教育内容の充実のため意志統一を行った。

尚、本年度より子ども・子育て新制度の施設型給付の幼稚園へと移行した。

### 第3節. 学校評価・自己評価の取り組み

継続して評価項目に沿って「自己点検・自己評価」を学期毎に行い、教員自らが指導や子どもとの関わりを省みた。そして、本園の総合評価として園長・副園長による評価を加え、園における総合評価と位置付けた。また、学校関係者評価として本園の父母会新旧役員の方に意見を求めた。学校評価委員は 名の構成とした。その結果の評価は、2025年4月に「2024年度・令和6年度 学校評価・自己評価」としてホームページにて公開。

### 第4節. 子育て支援事業

#### ① 預かり保育

2024年度も継続して子育て支援事業「預かり保育（新制度においては一時預かり事業）」の充実を図った。長期休業中の7月及び8月の夏休み及び12月の冬休み及び3月春休みにに預かり保育実施した。尚、子育て支援事業の趣旨のみでなく、従来の教育活動同様に「異年齢児による教育活動」と位置付け、子ども同士の関わりを深めるための指導や援助を実践し、子ども自らが育つ「子育て」の環境を調えた。さらに、年長児の卒園式以降の預かり保育利用を可とした。これにより保育需要の高い現代に即した預かり保育を実現した。

新制度移行に伴い教育時間前（8時～9時30分）までの時間帯も一時預かり事業となり、登園児は全員登園時刻の記録が必要となり、レーザーキッズを用いて打刻することとなった。

#### 長期休業中・預かり保育／日数／利用人数等実績

夏期・冬期 預かり保育	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
預かり保育日数	22日	23日	62日	26日	25日	29日	31日
預かり保育延べ利用園児数	1178名	1529名	2611名	1628名	956名	1159名	1222名
一日平均園児数	53.54名	66.47名	42.11名	62.66名	38.24名	39.96名	39.41名

#### ② あおばらんくらぶ（園庭開放・親子体操教室・未就園児子育て支援）

あおばらんくらぶ（園庭開放・親子体操教室・保育見学会）を年間を通じて実施した。

	2015/H27 16/H28就園	2016/H28 17/H29就園	2017/H29 18/H30就園	2018/H30 19/H31就園	2019/R元 20/R2就園	2020/R2 21/R3就園	2021/R3 22/R4就園	2022/R4 23/R5就園	2023/R5 24/R6就園	2024/R6 25/R7就園
園庭開放参加者	105名	118名	108名	129名	85名	0名	72名	187名	191名	183名
9月入園説明会参加者	59名	62名	64名	94名	63名	0名	27名	43名	82名	75名

#### ③ 課外教室

継続して、課外教室を展開し「子育て支援事業」として位置付けた。その教室内容は、以下の通り。

- I. スポーツクラブ [体育活動クラブ・教室名=スポーツクラブ/火曜日開講]
- II. 英語教室 [英語指導教室・教室名=ECC/水曜日開講]
- III. 幼児知育教室 [知育・教室名=プレイルーム/木曜日開講]
- IV. 幼児知育教室 [文字、数の指導・教室名=エンピツらんど/火・水・金曜日開講]
- V. 放課後スイミング [スイミングスクール/月・木・金曜日開講]
- VI. 幼児ロボット教室 [プログラミング教室/月2回月曜日開講]

令和6年度より「バルシューレ（ボール遊び教室）」を新規開講し、園環境や「のびのび」といった理念を活かした環境を整えた。尚、スポーツクラブ及びECC、プレイルーム、えんぴつらんどにおいては、卒園後（小学生）も課外教室を受講し、地域の教育センター的な要件を備えるに至った。

## 第5節. 教育環境・設備の充実 改修等について

近年、教育環境並びに設備の充実について重点的に改修、設備の導入を行ってきた。当然その趣旨は、子ども達にとって好ましい教育環境においての幼稚園運営は、私どもの責務であるとの認識である。下記は、その主な内容である。

### 近年の教育環境・設備の充実事業

#### 1. 北園舎廊下滑り止め工事



以上の通り、教育環境の充実を執り行った。

## 第6節. 納付金の減免 (入園一時金施設協力金の兄弟姉妹関係児減免措置)

保護者の経済的負担を最小限に抑える趣旨に則り、2009年度(平成21年度)入園者より入園一時金の内、施設協力費2万円を在園並びに卒園の兄弟姉妹関係の入園者〔納付義務者=保護者〕に対して減免措置を執っている。2022年度(令和4年度)入園者については「幼児教育・保育無償化」の実施により毎月の保育料がその差額2,300円の納付となるため、兄弟姉妹関係児の保育料減免は「保護者の経済的負担を抑える」という趣旨により減免措置を復活することと理事会において2020年度に決議し、2024年度も引き続き実施した。

[園則変更済、2021年度(令和3年度)納付金より]

## 第7節. 財務状況報告 [重要事項報告]

2024年度・令和6年度の財務状況については、法人監事2名及び監査法人・公認会計士より、適正に運営されていると認められた。計算書類〔消費収支計算書・資金収支計算書・貸借対照表・財産目録〕については、後日に本書とは別に本園オフィシャルホームページにてこれを報告・公開する。

## 第8節. 保護者交付各補助金

私立幼稚園就園奨励費補助金をはじめとする保護者交付の補助金は、「幼児教育無償化」を受けて2019年度(令和元年)の後期より全て廃止となった。また、新制度への移行により公定価格での運営となった。

## 第9節. 組織運営体制

### ① 学校法人山口学園 運営体制 [理事長・理事会の役割と責任]

理事長・山口尚志は、教育環境を調べ、建学の精神を確固たるものにと取り組んでいる所である。令和元年度中には、理事・山口哲也を副理事長に任命し、幼児教育無償化への対応や認定こども園への移行状況を視野にいれ今後の方向性を摸索し研究・調査を実施した。その結果、令和6年度より「施設型給付の幼稚園」への移行を決断した。

### ② 理事長の法人、団体役員等の履歴事項

社会福祉法人門真福祉会・評議員      社会福祉法人バアルツア事業会・評議員  
 社会福祉法人真栄福祉会・評議員      社会福祉法人長尾会 評議員  
 大阪府公安委員会委嘱・枚方地区少年指導委員（平成12年4月～）      枚方警察署協議会委員（平成29年6月～）  
 くずはロータリークラブ所属      枚方青年会議所シニアクラブ所属      同志社香里紫翠会理事

### ③ 幼稚園運営体制

コロナ禍の臨時休園中に業務体制の見直し、新しい勤務体制の構築を行い「就業規則・給与規定の改定」を実施した。残業手当を数時間見込みとする従前の「調整給」を見直し新たに「職務手当」とし支給するにいたった。これは、教員の資質の向上につながるものと確信しているところである。

尚、この処遇改善等々については、枚方市においては「保育士に月額1万円の支給」とし、幼稚園教員には支給せずという行政的に不平等となる政策を執っていることが「問題視されない」現実がある。今後は、行政との渉外要件についても一考すべきことが発生しているのが現実である。また、2022年2月より国の政策として幼稚園教諭に月額9,000円の処遇改善手当の支給通知があった。一律9,000円（月額）もしくは3%の改善策を示されたが、4月定時昇給に先駆けて2か月前をその主旨の位置づけとされた。本園は一律全教員に月額9,000円の処遇改善とした。ただし、本件については2022年9月までは四分之三の補助とし、10月以降については二分の一の補助となっている。前述の枚方市の政策と併せて私立幼稚園にとって、不合理を覚える政策と認識するところである。

その他の幼稚園運営については、「園務分掌規程」に基づき、業務を分掌し、合理的で機能的な幼稚園運営を図った。また「行事担当分掌」についても職員の責任と自覚のもと遂行され、反省課題はあるものの円滑な園運営がなされた。

## 第10節. 園児健康管理 職員の健康管理 [職員健康診断、令和6年6月実施 園医・石塚健二]

令和6年度中に下記の園児健康管理を行った。

- ① 年間を通して定期的に身長、体重、胸囲の測定。
- ② 学校保健法により右記の健康診断・視力検査を実施。
- ③ 園児健康管理上において特記すべき事項

### ※ 感染症罹患状況

インフルエンザ罹患および新型コロナウイルス感染症の同時感染拡大が心配された2023年1月以降、感染症罹患者が発生した場合に保護者に情報提供することで、体調不良時の参考となるよう努めた。



## 第11節. 教員の資質向上

### ① 園内における保育研究

	研修日時	研修内容	研修者
1	2024/4/5	体育指導研修	全 教 諭

### ② 園外における研修

	研修者	研修内容	研修時間数
1	甲斐 美由記	「ゆたかなまなび」内オンライン研修	24.5時間
2	中野 志保	「ゆたかなまなび」内オンライン研修	15時間
3	安井 沙也佳	「ゆたかなまなび」内オンライン研修	30時間
4	長倉 絵梨華	「ゆたかなまなび」内オンライン研修	15時間
5	中野谷 早智	「ゆたかなまなび」内オンライン研修	21時間
6	渡邊 奈緒	「ゆたかなまなび」内オンライン研修	15時間
7	吉梅 萌香	「ゆたかなまなび」内オンライン研修	15時間
8	富上 歩楓	「ゆたかなまなび」内オンライン研修	15時間

## 第12節. 幼稚園行事（事業）の概要 報告

4/3	第48回入園式	9/2	2学期始業式	1/9	3学期始業式
4/8	1学期始業式	9/13	敬老の集い参観	1/10	もんべ座公演
4/19	送迎記念写真撮影	9/25	移動動物園	1/23 1/24	異年齢保育参観
4/26	こどもの日の集い	10/19	運動会	1/29	落語会
5/16	園外保育	10/25	園外保育	2/3	節分まめまき
5/29	給食参観	11/9	作品展	2/15	生活発表会
6/5	歯科検診	11/15	七五三参拝	3/3	ひな祭り
6/20	内科検診	11/19	体育指導参観	3/6	お別れ会
6/16	日曜参観	11/28	スキップ楽団公演	3/10	お別れの集い
7/1	どろんこ参観	12/6	音楽会	3/14	第48回卒園式
7/4	七夕の集い	12/17	お餅つき		
7/5 7/6	おとまり保育	12/20	クリスマス会		
7/18	1学期終業式	12/23	2学期終業式		
7/20	あおば祭り				

第13節. 学籍報告・学事報告

令和6年度 学籍 (5月1日時点) ↓

2024年度 学籍管理 総括票



くずは青葉幼稚園

年少学年	学籍	男児	女児	小計	バス	徒歩	小計	枚方	八幡	京都	京田辺	小計	詳細 No.
すみれ	13	6	7	13	7	6	13	13	0	0	0	13	
たんぽぽ	13	6	7	13	8	5	13	12	1	0	0	13	
ばら	13	6	7	13	7	6	13	12	1	0	0	13	
<b>小計</b>	<b>39</b>	<b>18</b>	<b>21</b>	<b>39</b>	<b>22</b>	<b>17</b>	<b>39</b>	<b>37</b>	<b>2</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>39</b>	

年中学年	学籍	男児	女児	小計	バス	徒歩	小計	枚方	八幡	京都	京田辺	小計	詳細 No.
うめ	17	8	9	17	8	9	17	15	1	1	0	17	
きく	18	10	8	18	7	11	18	18	0	0	0	18	
さくら	18	10	8	18	12	6	18	17	1	0	0	18	
<b>小計</b>	<b>53</b>	<b>28</b>	<b>25</b>	<b>53</b>	<b>27</b>	<b>26</b>	<b>53</b>	<b>50</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>53</b>	

年長学年	学籍	男児	女児	小計	バス	徒歩	小計	枚方	八幡	京都	京田辺	小計	詳細 No.
まつ	18	7	11	18	10	8	18	17	1	0	0	18	
たけ	19	8	11	19	12	7	19	19	0	0	0	19	
ゆり	18	7	11	18	15	3	18	17	0	1	0	18	
<b>小計</b>	<b>55</b>	<b>22</b>	<b>33</b>	<b>55</b>	<b>37</b>	<b>18</b>	<b>55</b>	<b>53</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>55</b>	

全学年	学籍	男児	女児	小計	バス	徒歩	小計	枚方	八幡	京都	京田辺	小計
<b>合計</b>	<b>147</b>	<b>68</b>	<b>79</b>	<b>147</b>	<b>86</b>	<b>61</b>	<b>147</b>	<b>140</b>	<b>5</b>	<b>2</b>	<b>0</b>	<b>147</b>

異動前との対比	園児数増減	2024/4/1 現在
---------	-------	-------------

令和6年度卒園児就学小学校 (就学は令和7年度、令和7年3月現在) ↓

就学	小学校	まつ	たけ	ゆり	合計
枚方市立	樟葉北小学校	9	9	4	22
	樟葉	2	2	1	5
	樟葉西	0	2	4	6
	樟葉南	2	2	1	5
	船橋	2	0	7	9
	招堤	1	0	0	1
	牧野	0	1	0	1
京都市立	納所	0	0	1	1
福山市立	東	0	1	0	1
松山市立	新玉	1	0	0	1
私立	京都聖母学院	1	1	0	2
私立	香里ヌヴェール学院	0	1	0	1
	<b>合計</b>	<b>18</b>	<b>19</b>	<b>18</b>	<b>55</b>

## 第14節. その他の報告

### ① 未就園児教室の開講

未就園児教室キディクラブを開講。業務提携（委託）を齎エルステップスに業務委託し、本園と補完関係を執りながら未就園児子育て支援事業を行った。また親子未就園児教室として、あおば教室は、齎学研と業務提携（委託）し、本園入園予定児をその会員として子育て支援事業とした。。

### ② 小学校との連携・交流

例年実施の枚方市立樟葉北小学校1年生児童と交流会を開催した。また、年間を通して「架け橋コーディネーター」を指名し、教員間の校区内交流・議論を活発に行った。

### ③ ホームページの更新と情報公開

以下の通り、ホームページ更新を行ない「情報公開」を行った。

「園日誌」というタイトルにて日々の園児の生活の様子教育活動等を情報公開した。（園児画像等についての掲載については、年度初に保護者より全了承を得、公開した）このことにより、広く幼稚園教育内容や本園の教育方針を十分に一般的に理解を得ることができたものと確信する。

2025. 3. 12	「入園案内／園庭開放」「入園案内／入園説明会」更新
2025. 3. 3	「幼稚園ニュース」更新
2025. 1. 16	「幼稚園ニュース」「入園案内／未就園児教室／あおば教室」「入園案内／未就園児教室／キディクラブ」更新
2025. 1. 9	「幼稚園ニュース」更新
2024. 11. 22	「感動の声／運動会」「感動の声／作品展」更新
2024. 10. 31	「感動の声／入園志望の動機」更新
2024. 10. 7	「幼稚園ニュース」更新
2024. 9. 2	「入園案内／園児募集要項」更新
2024. 7. 29	「幼稚園ニュース」「入園案内／入園説明会」更新
2024. 6. 28	「幼稚園ニュース」更新
2024. 6. 12	「幼稚園ニュース」「情報公開／計算書類」更新
2024. 5. 27	「幼稚園ニュース」更新
2024. 5. 10	「幼稚園ニュース」更新
2024. 4. 26	「幼稚園ニュース」更新
2024. 4. 5	「情報公開／事業報告書」「情報公開／自己評価・学校評価」更新
2024. 4. 3	「幼稚園ニュース」「ようこそ青葉幼稚園へ／教育指針・方針／教育指針」「幼稚園概要」「沿革」「入園案内／園庭開放」「入園案内／入園説明会」「子どもたちの生活／生活の流れ」「子どもたちの生活／充実の課外授業」更新

【2024年度「自己評価・学校評価」並びに「事業活動報告」を2025年4月に公開

④ 次年度 2025年度・令和7年度学籍について

2024年10月1日、入園願書受付にて52名の入園志望があった。これにより、新年度の3歳児クラスを3学級と確定した。2025年3月以降に転居等により入園また、入園取消があり最終学籍は、(R7/4/1時点)年少学年51名、年中学年38名、年長学年50名、合計139名、8クラスの学籍となる。

⑤ 高齢者との交流会 年長児・枚方市立くずは北サービスセンター訪問事業

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、訪問を再開。年間を通して年長児が交流の機会をもった。

⑥ 銀行借入金に関して

銀行借入利息変遷の経緯と現状

2020年度・令和2年度)において「耐震補強工事」を実施し、この費用について株式会社京都銀行より3,400万円の融資を受けた。これにより、借入金の合計は2021年3月現在で65,772千円となった。尚、本年度の借入に際して、利率の改定を京都銀行との間で交渉を行った結果、低金利の融資を実現することとなった。

以下、平成19年(2007年)よりの経緯を以下に記す。平成19年11月に借入先、京都銀行に借入利率の縮小を依頼、協議の結果、0.25%引下げの合意が成され3.125%の借入利率となり、平成20年度(2008年度)予算作成に至った。平成21年度(2009年度)中、さらに平成22年度(2010年度)5月及び年度内12月末日返済時より、2.175%の借入利率の条件変更契約を締結した。平成23年度(2011年度)において更なる借入利率の条件変更を申し入れ、協議の結果2.075%の条件変更が、平成23年12月に契約更新を行った。2012年・平成24年11月30日、再度の借入利率の協議に入り、1.975%の条件変更合意し、0.1%の利率改定、平成27年度中(2015年度)には、1.8%の借入利率と交渉した。平成18年より対比すると、1.575%の利率引き下げが実現し平成28年度中には

年月日	利率
平成22年12月(2010)	2.175
平成23年12月(2011)	2.075
平成24年11月(2012)	1.975
平成27年11月(2015)	1.800
平成28年11月(2016)	1.475
令和元年10月(2019)	1.175
令和3年3月既存分(2021)	0.975
令和3年3月新規分(2021)	0.68
令和5年3月既存分(2023)	0.975
令和5年3月新規分(2023)	0.68

1.475%、さらに令和元年(2019年)10月に利率1.175%となった。まさに低金利時代を反映した結果となった。続いて、前述の耐震補強工事の融資を0.68%にて実行し、協議の結果、従前の借入金を0.975%の条件変更となった。これらは、本園にとって財務運営上、好ましい方向となり、現在に至る。尚、今後の社会一般の借入率の変動等に注視する必要はある。

⑦ 令和6年度・2024年度 給食実施状況・食育の取り組み状況

「集団で食する食事」としての安定に重点をおき、食べやすい環境を調べメニューは「パン給食と牛乳」を中心とした。また、米飯給食は、アレルギー対応食を個別に供給し、「食の安全」を確保し、経常的に「無農薬米・無農薬野菜」を食材として採用した。園児にとって和やかでおいしい給食の位置づけが成された。また「食育」の一環として、栄養の三要素の話等、食育に関する指導を行ない、食に対する意識の向上に努めた。

現在の給食納入業者である関西幼稚園給食が2024年度を以て撤退となる旨、6月に報告を受けた。その後新たな給食納入業者の選定を進め、「株式会社富喜屋」に決定し2025年度からの納入開始となった。

※ 令和6年度・2024年度・年間給食実施状況

資料 令和5年度・2023年度 年間給食実施状況↓

月	パン給食	米飯給食	給食回数	月	パン給食	米飯給食	給食回数
4	2	6	8	11	3	10	13
5	3	12	15	12	2	8	10
6	4	11	15	1	4	8	12
7	2	6	8	2	4	9	13
8	0	0	0	3	1	9	10
9	4	10	14	計	34	101	135
10	5	12	17				

月	パン給食	米飯給食	給食回数	月	パン給食	米飯給食	給食回数
4	2	5	7	11	3	12	15
5	2	13	15	12	2	7	9
6	5	11	16	1	3	11	14
7	2	6	8	2	5	10	15
8	0	0	0	3	1	9	10
9	4	11	15	計	33	106	139
10	4	11	15				

第15節. 沿革 -1

昭和51年 1976年	5月2日 前理事長・故、山口亨「建学の精神」を考察
昭和52年 1977年	2月22日 学校法人山口学園 法人認可を大阪府知事より受ける 4月10日 第1回入園式挙行 園地（開園当時） 合計 4249.0m <sup>2</sup> （1287.5坪） 園舎面積 402.9m <sup>2</sup> 延床面積 855.7m <sup>2</sup> 鉄筋コンクリート造り〔保育室5室、遊戯室1室、職員室、園長室の構成にて開園〕 学籍園児数 79名（4歳児48名、5歳児31名）幼稚園教育事業開業
昭和53年 1978年	開園二年を経過し、園児数増加を見込み、園舎増築を検討、計画。学籍園児数184名。
昭和54年 1979年	園舎増築工事完成 園舎面積 466.6m <sup>2</sup> 延床面積 874.8m <sup>2</sup> 鉄筋コンクリート造保育室・新職員室増築。学籍園児数274名。
昭和55年 1980年	園児数増加により、第二次園舎増築を検討、計画に入る。 学籍園児数335名。
昭和56年 1981年	園舎増築工事完成 園舎面積 83.1m <sup>2</sup> 延床面積 139.2m <sup>2</sup> 鉄筋コンクリート造 保育室2室を増築。学籍園児数376名。
昭和57年 1982年	園児数増加により、遊戯室新築を検討、計画に入る。 学籍園児数464名。
昭和58年 1983年	遊戯室増築工事完成（新游戯室） 園舎面積 317.4m <sup>2</sup> 延床面積 317.4m <sup>2</sup> 鉄骨造 遊戯室増築。在籍数528名。
昭和59年 1984年	コンピュータ導入し学籍管理他の処理を開始。学籍園児数507名
昭和61年 1986年	開園10周年記念事業として「幼児教育セミナー」開催〔講師：井上敏明（教育評論家・六甲カウンセリング研究所所長）講演〕記念誌 タブロイド版20頁作成、園児、卒園児に記念下敷配付。学籍園児数444名。前年度対比63名の園児数減
昭和62年 1987年	園児定員500名を大阪府に申請（定員増申請）400名の認可を受ける。 学籍園児数409名
昭和63年 1988年	学費口座引落処理をコンピュータ処理開始〔銀行口座振替システム運用〕 学籍園児数330名。前年度対比79名の園児数減少。
昭和64年平成元年 1989年	学費(保育料)年間、156000円に改定。 学籍園児数337名
平成 2年 1990年	文部省幼稚園教育要領の改訂により園則変更する。就業規則等改定、労働環境の整備を図る。学籍園児数364名。（前年度対比27名の園児数増）
平成 3年 1991年	幼稚園パンフレットタブロイド版8頁作成。開園15周年記念として父母会より「太陽電池時計」寄贈。学籍園児数307名。（前年度対比57名の園児減少）
平成 4年 1992年	学校週5日制を導入 園則変更する（平成4年9月より実施）文部省幼稚園教育要領の趣旨に則り少人数学級編制を採用、園則変更。（1組40名定員を35名定員変更、3歳児は25名定員）学籍園児数291名。
平成 5年 1993年	米飯給食を導入。 学費(保育料)年間、168000円に改定。 学籍園児数233名。（前年度対比58名の園児減少）
平成 6年 1993年	米飯給食を導入し、給食の充実を図る。 学籍園児数231名。
平成 7年 1995年	園地の拡大、合計 5386.1m <sup>2</sup> （1632.1坪） 前理事長・故、山口亨 大阪府知事より教育功労者表彰 受彰 青葉スポーツクラブ創設（スポーツクラブ開設）第2回 枚方チャイルドサッカー大会出場 優勝幼児体育指導を教育課程に編纂。学校週5日制を導入の拡大、園則変更する（平成7年4月実施） 学籍園児数202名。

## 第15節. 沿革 -2

平成 8年 1996年	開園20周年を迎え、諸行事等の見直しを行う。学費（保育料）年間、204000円に改定。学籍園児数222名（前年度対比20名の園児数増）
平成 9年 1997年	預かり保育の実施、子育て支援の充実を図る。学費(保育料)年間、228000円に改定。学籍園児数221名。
平成10年 1998年	夏期保育の長期化並びに夏期保育中の預かり保育拡大。学籍園児数233名。
平成11年 1999年	少子化対策臨時交付金（補助金）にて園舎・保育室改修工事を実施。学費管理システムPCソフト導入。学費(保育料)年間225000円に改定。学籍園児数223名。
平成12年 2000年	ホームページ開設 情報公開並びに幼稚園教育内容広報発信を開始。故、山口亨園長退任、山口尚志園長就任。学籍園児数229名。
平成13年 2001年	入園願書、Emailにて入園受付開始。学籍園児数212名。
平成14年 2002年	食育をテーマに講演会開催 講師:大和学園理事長 田中幸雄氏。学籍園児数214名。
平成15年 2003年	園舎改修[体育倉庫、備品倉庫、年少保育室空調設備設置]学籍園児数213名。
平成16年 2004年	異年齢児複合教育活動の本格化（縦割り保育）父母会運営組織の変革。全保育室並びに遊戯室に空調設備を完備。学籍園児数210名。
平成17年 2005年	課外教室として幼児英語教室（ECC）、幼児プレイルーム（学研）、未就園児教室を開講。異年齢児複合教育活動（縦割り保育）の継続。教育講演会開催 講師:大和学園理事長 田中幸雄氏。学籍園児191。
平成18年 2006年	開園30周年を迎える。園庭開放を実施し、未就園児子育て支援事業に取り組み 異年齢児複合教育活動（縦割り保育）の継続。課外教室エンピツらんど開講。理事山口尚志、法人の代表権を有する副理事長就任。 学籍園児数160名（前年度対比31名の園児数減少）
平成19年 2007年	園庭開放を継続実施し未就園児子育て支援事業を拡大。異年齢児複合教育活動（縦割り保育）の継続。課外教室「こどもアートクラブ」開講。園内改修[預かり保育室・年中園舎手洗い場・園庭西花壇・園地周りフェンスの改修] 学籍園児数154名。
平成20年 2008年	園庭開放日を月2回とし未就園児子育て支援事業を拡大。未就園児教室キディクラブ開講。夏休み預かり保育開始。給食内容について改良改善、従来にましてアレルギー食への対応を実施。学籍園児数139名（前年度対比15名の園児数減少）
平成21年 2009年	学校評価・自己評価をホームページに公開、併せて財務状況について公開。異年齢児による教育活動のより充実に努め、その活動期間の長期化を図る。園庭開放を継続実施。夏休み預かり保育の拡大実施並びに冬休み預かり保育の実施。年度末（2010年3月）に平成22年度向けて、保育室6室改修工事（室内手洗場、保育室ドア改修他）並びに園内花壇の安全改修工事を実施。その他の改修工事（屋上防水塗装、園庭境界部分塗装の各修繕工事）を実施完了。学籍園児数151名
平成22年 2010年	学校評価・自己評価、財務状況について公開。園庭開放事業を継続。平成21年度に引き続き、保育室改修工事を施工し、園児教育環境整備を整える。学籍園児数175名
平成23年 2011年	学校評価・自己評価、財務状況について公開。園庭開放事業を継続。学籍園児数191名
平成24年 2012年	学校評価・自己評価、財務状況について公開。園庭開放事業を継続。学籍園児数180名。[中規模改修工事を実施]
平成25年 2013年	学籍園児数192名。[小規模改修工事を実施] 年度末を以て学校法人山口学園理事長山口亨辞任。後任に園長・山口尚志を選任
平成26年 2014年	学籍園児数220名。[中規模改修工事(園舎塗装改修、その他)を実施] 学校法人山口学園・前理事長山口亨逝去。こども園移行について審議、移行せずの結論
平成27年 2015年	学籍園児数238名。11クラスを以て学級編成 [小規模改修工事(駐車場拡張、放送設備機器入替、太陽電池時計入替、その他)を実施] こども園移行について継続審議、移行せずの結論。

第15節. 沿革 -3

平成28年 2016年	学籍園児数 223名。11クラス学級編成 [小規模改修工事(遊戯室改修、その他)を実施] ことも園移行について継続審議、移行せずの結論。日本財団よりの通園バス本格運行。
平成29年 2017年	学籍園児数 222名。11クラス学級編成 [改修工事(南園舎1F床板、正門オートロック化その他)を実施] ことも園移行について継続審議、移行せずの結論。ICT化推進。
平成30年 2018年	学籍園児数 213名11クラス学級編成[台風による被害の為、2教室及び南園舎天井等の改修2019年度1学級増の為1教室の改修。遊戯室入口、駐車場入口の整備。ICT化推進。大阪北部地震の影響により私立第二ローズ幼稚園園児17名を2018年9月1日より受入。]
令和元年 2019年	学籍園児数 258名12クラス。私立学校法改正に伴い、学校法人山口学園寄付行為変更。同時に法人代表権のある副理事長に副園長山口哲也選任。 同年10月より保育料の無償化実施。枚方市・八幡市・京都市・生駒市・羽曳野市と手続き処理。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月臨時休園措置。令和元年度卒園式は略式にて挙行する。非常階段倉庫等、施設の改修工事を実施。3学期中に耐震診断を実施。
令和2年 2020年	学籍園児数 246名11クラス。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、前年度末3月より当該年度6月まで臨時休園措置。耐震補強工事を12月より翌年2月の期間に補強改修工事を実施した。通園バス車両入れ替えを行い、教育環境の充実をはかった。
令和3年 2021年	学籍園児数 241名11クラス。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、様々な行事が中止・変更となる。雪遊び・ダンボール迷路を中止行事にかわり実施。照明LED化・空調の工コ新調工事を12月より翌年3月の期間に補強改修工事を実施した。通園バス車両入れ替えを行い、教育環境の充実をはかった。
令和4年 2022年	学籍園児数 208名10クラス。今年度より理事長・山口尚志が理事長職に専念し、副園長・山口哲也が園長に就任した。また、新型コロナウイルス感染症対策を取り組みながらではあるが、全ての行事を開催。
令和5年 2023年	学籍園児数 179名9クラス。新型コロナウイルス感染症の5類移行により、あおば祭りを4年振りに開催。令和6年度からの「施設型給付の幼稚園」への移行を決断。
令和6年 2024年	学籍園児数 147名9クラス。「施設型給付の幼稚園」への移行した。

学籍の推移 資料

No.	年度	3歳児	4歳児	5歳児	合計	入園児数	年度末卒園児数	納付金年額
1	昭和52年	—	48/2組	31/1組	79/03組	79名	31名	120000
2	昭和53年	—	122/3組	62/2組	184/05組	141名	62名	120000
3	昭和54年	—	157/4組	122/3組	279/07組	167名	122名	132000
4	昭和55年	23/1組	162/4組	150/4組	335/09組	197名	150名	132000
5	昭和56年	35/1組	190/5組	151/4組	376/10組	202名	151名	132000
6	昭和57年	44/1組	231/6組	189/5組	464/12組	248名	189名	132000
7	昭和58年	40/1組	276/7組	212/6組	528/14組	277名	212名	132000
8	昭和59年	26/1組	244/7組	237/6組	507/14組	211名	237名	132000
9	昭和60年	54/2組	206/6組	216/6組	476/14組	179名	216名	144000
10	昭和61年	42/2組	211/6組	191/5組	444/13組	209名	191名	144000
11	昭和62年	42/1組	179/5組	188/5組	409/11組	186名	188名	144000
12	昭和63年	38/2組	132/4組	160/4組	330/10組	140名	160名	144000
13	平成01年	50/2組	165/5組	123/4組	337/11組	184名	123名	156000
14	平成02年	58/2組	147/4組	159/5組	364/11組	160名	159名	156000
15	平成03年	44/2組	215/4組	139/4組	308/10組	123名	139名	156000
16	平成04年	75/3組	90/3組	126/4組	291/10組	129名	126名	156000

## 学籍の推移 資料

No.	年 度	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	合 計	入園児数	年 度 末 卒 園 児 数	納 付 金 年 額
17	平成05年	34/2組	112/4組	87/3組	233/09組	80名	87名	168000
18	平成06年	42/2組	84/3組	105/3組	231/08組	94名	105名	168000
19	平成07年	60/3組	60/3組	82/3組	202/08組	87名	82名	180000
20	平成08年	71/3組	92/3組	59/2組	222/08組	108名	59名	204000
21	平成09年	42/2組	93/3組	86/3組	221/08組	76名	86名	228000
22	平成10年	88/4組	55/2組	90/3組	233/09組	107名	90名	228000
23	平成11年	65/3組	99/3組	59/2組	223/08組	90名	59名	252000
24	平成12年	57/3組	80/3組	92/3組	229/09組	77名	92名	252000
25	平成13年	66/3組	72/3組	74/3組	212/09組	84名	74名	252000
26	平成14年	59/3組	75/3組	80/3組	214/09組	79名	80名	252000
27	平成15年	66/3組	74/3組	73/3組	213/09組	82名	73名	252000
28	平成16年	53/3組	84/3組	73/3組	210/09組	71名	73名	252000
29	平成17年	52/3組	57/2組	82/3組	191/08組	60名	82名	252000
30	平成18年	47/3組	56/2組	57/2組	160/07組	53名	57名	252000
31	平成19年	53/3組	47/2組	55/2組	154/07組	57名	55名	252000
32	平成20年	42/3組	51/2組	46/2組	139/07組	46名	46名	252000
33	平成21年	51/3組	47/2組	52/2組	151/08組	57名	51名	252000
34	平成22年	66/4組	57/2組	51/2組	174/08組	75名	51名	252000
35	平成23年	67/4組	67/3組	57/2組	191/09組	71名	57名	252000
36	平成24年	46/3組	68/3組	66/3組	180/09組	52名	66名	252000
37	平成25年	79/5組	47/2組	66/3組	192/10組	84名	66名	252000
38	平成26年	95/5組	78/3組	47/2組	220/10組	101名	47名	297240
39	平成27年	69/4組	94/4組	75/3組	238/11組	73名	73名	300000
40	平成28年	67/4組	66/3組	90/4組	223/11組	67名	88名	318000
41	平成29年	89/5組	65/3組	68/3組	222/11組	62名	69名	318000
42	平成30年	60/4組	86/4組	67/3組	213/11組	98名	70名	318000
43	令和元年度	84/5組	76/3組	98/4組	258/12組	85名	96名	10月以降無償化
44	令和2年度	74/4組	91/4組	81/3組	246/11組	85名	81名	無償化
45	令和3年度	71/4組	77/3組	93/4組	241/11組	61名	95名	無償化
46	令和4年度	57/4組	73/3組	78/3組	208/10組	51名	78名	無償化
47	令和5年度	50/3組	55/3組	74/3組	179/9組	41名	75名	無償化
47	令和6年度	39/3組	53/3組	55/3組	147/9組	52名	55名	無償化



2024年度・令和6年度  
学校法人山口学園くずは青葉幼稚園の  
教育事業について、以上の通り報告します。

2025年4月1日

学校法人山口学園  
くずは青葉幼稚園  
園長 山口哲也

